

平成 29 年 2 月 19 日 (日) 施行

## 第 185 回 全経簿記能力検定試験 1 級 会計 解説

### 第 1 問

1. 財務諸表等規則 第 59 条、第 60 条、第 65 条
2. 財務諸表等規則 第 67 条

### 第 2 問

1. 受取手形

二勘定制で処理するので、当座借越減少の処理を行う。

2. 借入

金銭貸借などの担保として、保有する有価証券を他の者に差し入れることがあります。この場合、担保として差し入れられた有価証券を譲渡したわけではありませんが、有価証券が手許からなくなるため、備忘記録として『有価証券』勘定から『差入有価証券』勘定への振替を帳簿価額で行います。

$$\therefore 600 \text{ 株} \times @ \text{ ¥}3,700 = \text{ ¥}2,220,000$$

3. 未決算

火災未決算は  $\text{ ¥}25,000,000 - \text{ ¥}10,500,000 = \text{ ¥}14,500,000$

このうち普通預金に振り込まれた  $\text{ ¥}12,800,000$  を除いた  $\text{ ¥}1,700,000$  は火災損失となる。

4. 投資有価証券

社債利払は現金勘定で処理する。

$$\text{ ¥}8,000,000 \times 1.2\% (\text{年利子率}) \times (6 \text{ か月} / 12 \text{ か月}) = \text{ ¥}48,000$$

(借) 現	金	48,000	(貸) 有価証券利息	48,000
-------	---	--------	------------	--------

また、償却原価法による償却について、償却期限 5 年 (60 か月) の社債を当期の 4 月 1 日に取得し、決算日までに 6 ヶ月が経過している。

$$\text{ ¥}8,000,000 \times ((100 - 98.80) / 100) \times (6 \text{ ヶ月} / 60 \text{ ヶ月}) = \text{ ¥}9,600$$

(借) 投資有価証券	9,600	(貸) 有価証券利息	9,600
------------	-------	------------	-------

5. 株式の買入消却

資本金減少差益の金額は

$$(2,500 \text{ 株} \times @ \text{ ¥}1,830) - (2,500 \text{ 株} \times @ \text{ ¥}1,500) = \text{ ¥}825,000$$

6. 予約販売

予約時 (全 15 巻 各 @  $\text{ ¥}25,000$  の 25 部)

(借) 現	金	9,375,000	(貸) 前	受	金	9,375,000
-------	---	-----------	-------	---	---	-----------

1、2、3 巻引き渡し時 (1, 2, 3 巻 各 @  $\text{ ¥}25,000$  の 25 部)

(借) 前	受	金	1,875,000	(貸) 有価証券利息	1,875,000
-------	---	---	-----------	------------	-----------

### 第3問

#### 【工事進行基準】

##### ①甲工事契約

甲工事は前期に着工している。前期の工事完成高計上額は

$$125,800 \text{ 千円} \times \frac{52,800 \text{ 千円}}{52,800 \text{ 千円} + 35,200 \text{ 千円}} = 75,480 \text{ 千円}$$

当期に完成しているのので、完成工事高計上額は

$$125,800 \text{ 千円} - 75,480 \text{ 千円} = 50,320 \text{ 千円}$$

当期発生工事原価は 36,300 千円

##### ②乙工事契約

乙工事は当期に着工している。当期の工事完成高計上額は

$$224,000 \text{ 千円} \times \frac{58,800 \text{ 千円}}{58,800 \text{ 千円} + 109,200 \text{ 千円}} = 78,400 \text{ 千円}$$

当期発生工事原価は 58,800 千円

##### ① ②より

完成工事高は 50,320 千円 + 78,400 千円 = 128,720 千円

完成工事原価は 36,300 千円 + 58,800 千円 = 95,100 千円

よって完成工事総利益は 128,720 千円 - 95,100 千円 = 33,620 千円

#### 【工事完成基準】

工事完成基準は、完成時に完成工事高を計上する。当期に完成した工事は甲工事である。

完成工事高は甲工事の 125,800 千円

完成工事原価は 52,800 千円（前期分） + 36,300 千円（当期分） = 89,100 千円

完成工事総利益は 125,800 千円 - 89,100 千円 = 36,700 千円

### 第4問

外貨建取引

2016年3月18日 取引発生日 \$1 = ¥103

$$\$ 12,000 \times ¥103 = ¥1,236,000 \quad \dots \textcircled{1}$$

2016年3月31日 決算日 \$1 = ¥106

$$\$ 12,000 \times ¥3 (\$106 - \$103) = ¥36,000 \quad \dots \textcircled{2}$$

$$\text{決算日現在の外貨建売掛金} = \textcircled{1} + \textcircled{2} = ¥1,272,000$$

2016年4月20日 決済日 \$1 = ¥101

当座預金円口座の入金 - 外貨建売掛金 = 為替差損益

$$(\$ 12,000 \times ¥101) - ¥1,272,000 = \Delta ¥60,000$$

## 第5問

### 〔資料2〕 検討事項

#### 1. 株主配当金領収証の処理

(借) 現金預金	50	(貸) 受取配当金	50
現金預金	200	買掛金	200

#### 2. 仮払金の処理

(借) 建設仮勘定	1,500	(貸) 仮払金	9,300
仮払法人税等	2,000		
仮払消費税	4,520		
退職給付引当金	1,280		

#### 3. 仮受金の処理

(借) 仮受金	5,800	(貸) 前受金	200
		仮受消費税	5,600

#### 4. 定期預金の処理

(借) 長期預金	3,600	(貸) 定期預金	5,800
現金預金	2,200		

#### 5. 消費税の処理

(借) 仮受消費税	5,600	(貸) 仮払消費税	4,520
		未払消費税	1,080

### 〔資料3〕 決算整理事項

#### 1. 売掛金の期末残高は23,400千円

貸倒引当金は  $23,400 \text{ 千円} \times 1.5\% = 351 \text{ 千円}$

残高試算表の貸倒引当金残高は70千円なので、差額補充法により、

(借) 貸倒引当金繰入	281	(貸) 貸倒引当金	281
-------------	-----	-----------	-----

#### 2. 売買目的有価証券の評価替え

彦根会社株式 (7.10千円 - 8.00千円)  $\times 500 \text{ 株} = \Delta 450 \text{ 千円}$

大津会社株式 (13.80千円 - 12.50千円)  $\times 200 \text{ 株} = 260 \text{ 千円}$

(借) 有価証券評価損	190	(貸) 有価証券	190
-------------	-----	----------	-----

### 3. 期末商品の評価

@20.0 千円	a 商品	棚卸減耗費	棚卸減耗費 @20.0 千円 × (470 個 - 465 個) = 100 千円
	465 個	470 個	
@8.5 千円	商品評価損	棚卸減耗費	商品評価損 (@8.5 千円 - @8.2 千円) × 790 個 = 237 千円
@8.2 千円	b 商品		棚卸減耗費 @8.5 千円 × (800 個 - 790 個) = 85 千円
	790 個	800 個	

#### 帳簿棚卸商品

a 商品	20.0 千円 × 470 個 = 9,400 千円	}	16,200 千円
b 商品	8.5 千円 × 800 個 = 6,800 千円		
棚卸減耗費	…100 千円 + 85 千円 = 185 千円		
商品評価損	…237 千円		

(借) 仕 入	14,800	(貸) 繰越商品	14,800
繰越商品	16,200	仕 入	16,200
棚卸減耗費	185	繰越商品	185
商品評価損	237	繰越商品	237
仕 入	237	商品評価損	237

### 4. 貸付金の利息と長期貸付金への振替

平成 28 年 10 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日まで (3 ヶ月) の利息が当期の受取利息である。  
ただし、期限に元金とともに受け取るので、未収収益として処理する。

$$4,000 \text{ 千円} \times 3\% \times (3 \text{ ヶ月} / 12 \text{ ヶ月}) = 30 \text{ 千円}$$

(借) 未 収 収 益	30	(貸) 受 取 利 息	30
-------------	----	-------------	----

貸付金を長期貸付金に振り替える。

(借) 長 期 貸 付 金	4,000	(貸) 貸 付 金	4,000
---------------	-------	-----------	-------

### 5. 減価償却

建物 (定額法) 残存価格ゼロ

$$(25,600 \text{ 千円} - 0 \text{ 円}) / 40 \text{ 年} = 640 \text{ 千円}$$

(借) 減 価 償 却 費	640	(貸) 建物減価償却累計額	640
---------------	-----	---------------	-----

備品のうち 1,200 千円は当期に取得したものであるから、新備品 1,200 千円、旧備品 8,800 千円

【新備品】(定率法) 償却率 0.250 当期の使用は 4 ヶ月 (9～12 月)

$$1,200 \text{ 千円} \times 0.250 \times (4 \text{ ヶ月} / 12 \text{ ヶ月}) = 100 \text{ 千円}$$

(借) 減 価 償 却 費	100	(貸) 備品減価償却累計額	100
---------------	-----	---------------	-----

【旧備品】(定率法) 償却率 0.250

$$(8,800 \text{ 千円} - 4,680 \text{ 円}) \times 0.250 = 1,030 \text{ 千円}$$

(借) 減 価 償 却 費	1,030	(貸) 備品減価償却累計額	1,030
---------------	-------	---------------	-------

減価償却費 : 640 千円 + 100 千円 + 1,030 千円 = 1,770 千円

6. 商標権償却

耐用年数 10 年 (120 ヶ月) のうち前期末で 8 ヶ月償却が終わっている。

残存期間 112 ヶ月で 2,240 千円なので

当期の特許権償却額は  $2,240 \text{ 千円} \times (12 \text{ ヶ月} / 112 \text{ ヶ月}) = 240 \text{ 千円}$

(借) 商標権償却	240	(貸) 商標権	240
-----------	-----	---------	-----

7. 退職給付の積立

(借) 退職給付費用	1,250	(貸) 退職給付引当金	1,250
------------	-------	-------------	-------

※決算整理前残高 8,500 千円 当期繰入額 1,250 千円 退職一時金の支払 1,280 千円 より

貸借対照表負債の部 退職給付引当金の額 :  $8,500 \text{ 千円} + 1,250 \text{ 千円} - 1,280 \text{ 千円} = 8,470 \text{ 千円}$

8. 費用の繰延

(借) 前払費用	320	(貸) 保険料	320
----------	-----	---------	-----

9. 法人税の計上

[資料 2] 2 より、仮払法人税等が 2,000 千円あるので

(借) 法人税等	4,320	(貸) 未払法人税等	2,320
		仮払法人税等	2,000